

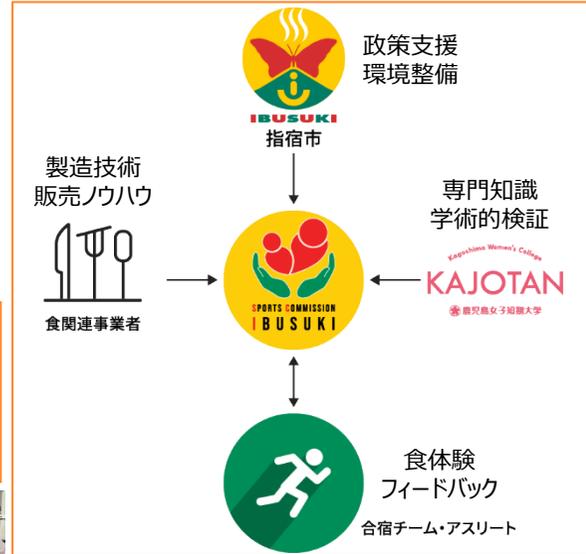
アスリート・ミール・プロジェクト ～産学官連携による持続可能なスポーツまちづくり～

スポまち！表彰2025
⑩鹿児島県指宿市

＜目標＞ 計画期間：令和7年4月1日～令和9年3月31日

地域一体型スポーツサポート体制の構築 2026年夏にアスリート向け食体験を商品化し、指宿市全体で統一されたおもてなしブランドを確立	継続的な地域経済循環の創出 三方よしの仕組みにより、大学の実践教育、事業者の優先受注権確保、市のブランド力向上を同時実現
実践的人材育成 栄養学専攻学生への商品開発・マーケティング実践機会を年間延べ100名に提供	主な数値目標(KPI) 開発商品数：5種類／参画事業者数：7社／ 年間販売数量：3,000食／学生参画数延べ：100名

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜PRポイント＞

- 1. 真の三方よし産学官連携モデル：**市（統一ブランドによるおもてなし力向上）、大学（実践的商品開発・マーケティング体験）、事業者（初期参画効果＋継続的優先受注権）の三者が明確なメリットを享受
- 2. 科学的根拠に基づく実践的教育プログラム：**鹿児島女子短期大学の専門知識を活用し、学生が在学中に商品開発から販売まで一貫して体験可能な教育モデル
- 3. 持続可能な地域経済循環システム：**一過性の支援ではなく、優先受注権等による継続的なビジネス機会を地域事業者を提供する仕組み

＜現状・課題＞

- 指宿市全体で統一されたスポーツサポート体制が道半ば
- 各施設・事業者がばらばらに対応しており、指宿ブランドとしての一体感が不十分
- 大学の専門知識と地域産業を結びつける実践的な産学連携プロジェクトが不足
- 地域事業者が継続的にスポーツ関連ビジネスに参画できる仕組みが未整備
- アスリートの栄養管理という専門性の高い分野での地域一体的なサービス提供体制の必要性



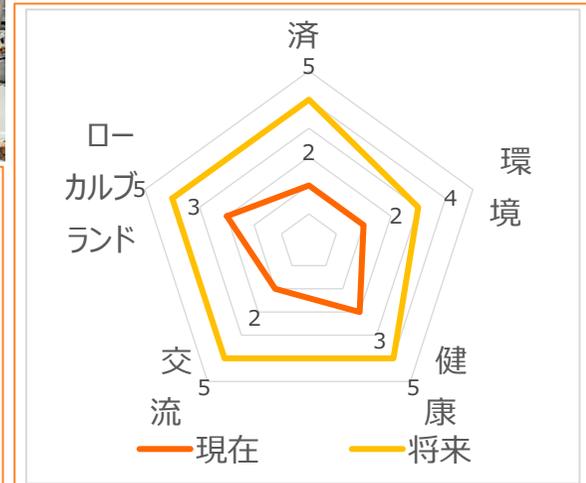
＜総合的な取組内容＞

フェーズ1: 商品開発 ・栄養学的根拠に基づく商品設計 ・地域食材を活用したレシピ開発 ・携帯性と栄養バランスを両立した新形態食体験の創出	フェーズ2: 試作・検証 ・合宿チーム・大会での実証実験 ・栄養効果の科学的検証 ・食体験魅力度の測定	フェーズ3: 商品化・展開 ・商品の正式リリース ・合宿チーム・大会への本格提供 ・継続的な品質向上と商品展開	持続的な展開 ・商品ラインナップの拡充(5種類以上) ・優先受注権による事業者の継続参画 ・学生への実践教育機会の定着化 ・地域経済循環システムの確立
---	---	---	--

★まち全体でのおもてなし文化の定着★

- 産学官連携による人材育成の継続的実施により、おもてなし精神を持った市民を絶えず排出
- 市民が自分事としてアスリートを迎え、まち全体で受け入れる文化を醸成
- 旗振り役がいなくとも持続可能な受け入れ体制を構築（人口減少時代の地方における新しいモデル）

＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号

鹿児島県指宿市スポーツ振興課
0993-23-1014